

令和 2 年度決算に係る

定期監査
資料
決算審査

令和 3 年 7 月

総務部兼県土整備部淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	3 頁
7	事業別実施状況調べ	3 頁
8	予備費の充用調べ	3 頁
9	繰越関係調べ	3 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱調べ	5 頁
11	現金の取扱状況	5 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
12	財産に関する調べ	5 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	6 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	6 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	6 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	6 頁
17	備品の処分状況調べ	6 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	6 頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
19	貸付金等状況調べ	7 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	7 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	
定員	1	1	2	2	0	0	3	3	
現員	() 1	() 1	() 2	() 2	()	()	() 3	() 3	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時的 任用職員									
会計年度 任用職員									

4 役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
室長	山本 晃裕	年 月 1 7	
課長補佐	大呂 忠司	1 7	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
地下水等調査検討事業	159,554				159,554
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>(公財)鳥取県環境管理事業センターが、産業廃棄物処理施設の設置を計画している米子市淀江町小波地内の土地について、科学的知見を有する委員で構成する地下水等調査会により、地下水、地層及び地質の調査を公正・中立に行い、地下水の流向等を把握する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 調査計画の策定 (令和2年5月、第2回調査会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：ボーリング11地点(25本)、地下水位及び河川流量の連続観測、水質調査、シミュレーション等。 <p>(2) 先行調査の実施 (令和2年7月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：ボーリング(3本)、河川流量連続観測(3地点、9月開始) ⇒ 計画地周辺の大まかな地層地質構造を確認。 <p>(3) 調査計画の見直し(令和2年9月 第3回調査会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：先行調査結果に基づき、ボーリング本数(25本→31本)や水質調査項目等を見直し。 <p>(4) 本調査の実施 (令和2年9月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：残りのボーリング調査、地下水位連続観測(11月開始)・河川流量観測(11月実施)、水質調査等 <p>(5) 水理地質構造解析(令和3年2月、第4回調査会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：ボーリングコア(地質試料)や透水試験等の結果から、対象エリアの地質構造及び地下水の分布等を概ね確認。併せて、三次元シミュレーションの解析方法を確認。 <p>(※) 上記会議(計3回)の他に、現地確認(計3回)を実施するなど、随時、委員に状況を確認していただきながら調査を進めた。</p> <p>(※) 会議は、公開(傍聴可、資料・議事録の公開)し、関係自治会への結果概要の説明や、県政だよりでの広報など、調査会での議論の内容が県民に伝わるよう情報発信を行った。</p> <p>イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行調査と本調査の2段階で実施することで、見直しをかけながら丁寧かつ効率的に調査を進めた。 ・複数の調査会社が、同じボーリング調査業務を実施するに当たり、ボーリングコア(地質試料)に係る統一的な判断基準を示すことで適正かつ公平な事業管理を行った。 ・県東部(県庁)にモニター傍聴会場を設置して、公開性の向上に努めた。 ・専門的な調査内容について、県民理解の一助とするための用語解説集を作成配布した。 <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング調査の完了や地下水位等連続観測の開始など現場での調査データの収集に目処が立った。 ・計画地周辺では、3つの帯水層が存在し、対象エリア全域にわたって広く分布していることなど水理地質構造(地下水の分布を含む地質構造)を概ね推定した。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、地下水位観測や水質分析の結果などから、水理地質構造の検証を進めるとともに、3次元シミュレーションにより、計画地周辺の地下水の流動を解析する。 ・新型コロナウイルスの感染拡大により、委員に来県していただけない状況が続いているが、丁寧かつ効率的に調査を進めていく必要がある。(※)令和3年12月頃：途中成果、令和4年2月頃：最終成果 ・調査は専門性が高く難解であるが、議論の内容が県民や住民に伝わるよう、引き続きわかりやすく発信をしていく必要がある。 					

6 決算資料
一般会計（歳入）
該当なし

一般会計（歳出） (単位：円)

区分	科目	予算額			算現額		支出済額の内訳			翌年度繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び flowing 増減	計 A	支出済額 (決算額) B	本 年 度 本 庁	出納機 関			
歳	土木総務費	34,393,000	190,000,000			224,393,000	159,553,648		64,839,352	0		
出	合計	34,393,000	190,000,000			224,393,000	159,553,648		64,839,352	0		

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額			算現額		支出済額 (決算額) B	翌年度繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び flowing 増減	計 A					
(土木総務費) (主) 地下水等 調査検討事業	34,393,000	190,000,000			224,393,000	159,553,648	64,839,352	0		主な事業に関する調べのとおり
合計	34,393,000	190,000,000			224,393,000	159,553,648	64,839,352	0		

8 予備費の充用調べ
該当なし

9 繰越関係調べ
(1) 継続費逐次繰越調べ
該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位：円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内			繰越理由
				既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源	
土木総務費	地下水等調査検討事業費	224,393,000	64,839,352			64,839,352	令和2年から3年度債務負担で実施する三次元地下水シミュレーションの基 本データとなる地質総合解析につい て、調査会の意見を踏まえたポーリン グ調査本数の追加等により年度内完了 が困難となったことによる。
合計		224,393,000	64,839,352			64,839,352	

(3) 事故繰越調べ

該当なし

10 収入証紙取扱調べ

有 ・ 無

11 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

該当なし

(2) つり銭の状況

(令和3年3月31日現在)

つり銭の有無	無	つり銭の額(円)	—
--------	---	----------	---

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

ウ 山林

該当なし

エ 不動産売却等

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

キ 物権

該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

(ア) 異動状況

該当なし

(イ) 出願及び登録の状況

該当なし

(ウ) 活用の状況

該当なし

ケ 有価証券

該当なし

コ 出資による権利

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

① ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

該当なし

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

該当なし

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）

該当なし

14 借受不動産明細調べ

該当なし

15 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

該当なし

(2) 減免の考え方（減免を行った場合のみ）

該当なし

(3) 使用料の見直し

該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

17 備品の処分状況調べ

該当なし

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ ②

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

該当なし

(2) 償還状況

該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

該当なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

該当なし